

## 「地域密着型金融推進計画」の進捗状況

平成17年4月にスタートした「地域密着型金融推進計画」の平成17年4月から平成17年9月までの進捗状況は下記の通りです。

## (1) 事業再生・中小企業金融の円滑化

当金庫は、創業・新事業支援機能等の強化のため、営業店融資係や融資専担者に対し「審査トレーナー」を実施するなど積極的に取り組んでまいりました。また、栃木県制度融資「新事業開拓支援資金」の取扱も開始し、次の実績を上げました。

創業・新事業融資実績	9件	136百万円（内、県制度融資は6件66百万円）
------------	----	-------------------------

また、取引先企業に対する経営相談・支援活動の強化については、経営支援部隊が中心となり活動していますが、経営コンサルタントと連携した経営指導も実施しています。その結果は、次のとおりです。

支援対象先	ランクアップ先	ランクアップ2先のランクアップ理由
21先	2先 (要注意先から正常先)	・ 業績回復し利益計上、今後も利益計上見込み。 ・ 不動産を処分。売上も増加し連続利益計上。

各金融機関に、担保・保証に過度に依存しない商品の開発が求められていますが、当金庫では担保・保証に依存しない「だいしんおまとめローン」を17年8月より取扱開始しました。今後も担保・保証に過度に依存しない商品を検討します。

事業再生に向けて栃木県商工労働観光部経営支援課と連携し、県認定の中小企業診断士による経営指導に着手しました。現在、2社について取組中です。

融資人材育成のため、職員を対象に外部講師を招いての専門的な研修や休日を利用した「土曜講座」等を開催しています。また、外部研修にも積極的に職員を派遣し、人材育成に努めています。

当金庫が開催した土曜講座（参考）

開催月	講座内容	講師	参加人員
5月	中小企業の経営改善支援	信金中金総合研究所研究員	102名
6月	日本経済見通しとマーケット	証券会社社員	105名
7月	顧客満足（CS）について	金融機関インストラクター	91名
9月	町医者としての企業再生	中小企業診断士	89名

## (2) 経営力の強化

信用格付システムを稼働させるため準備を開始しました。今後、着実に進め信用リスクデータの蓄積を行ないます。

当金庫は、不祥事故等が発生しないよう定例的にコンプライアンス教育や個人面談等を実施しています。また、監査部による不祥事故防止のための監査も実施しています。苦情等については、営業店から定例的に報告させ、関係各部やコンプライアンス委員会で協議し、改善に向けて指導を実施しています。

## (3) 地域の利用者の利便性向上

当金庫の経営内容や地域貢献に関する情報開示は定例的に実施しています。

平成17年12月に信用金庫の特性を踏まえた「利用者満足度調査」を実施し、その結果については経営に反映致します。

以上

## 大項目毎の進捗状況、進捗状況に対する分析・評価及び今後の課題

## 大田原信用金庫

大項目	進捗状況及び進捗状況に対する分析・評価	今後の課題
事業再生・中小企業の円滑化	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 当金庫は、創業・新事業支援機能等の強化のため、営業店審査担当者等に対し「審査トレーナー」を実施するなど、融資審査態勢の強化に努めております。また、栃木県制度融資「新事業開拓資金」の取扱も開始しました。 その結果、創業・新事業資金は期間中9件136百万円実行しました。(内、県制度融資「新事業開拓資金」は6件66百万円)</li> <li>・ 取引先企業に対する経営相談・支援活動の強化については、経営支援部隊が中心となり活動しています。活動に当たっては、経営コンサルタント等と連携し経営指導を行なっています。 経営支援部隊が21先に対し支援活動を行った結果、2先が要注意先から正常先へランクアップしました。</li> <li>・ 各金融機関に、担保・保証に過度に依存しない商品の開発が求められていますが、当金庫では担保・保証に依存しない「だいしんおまとめローン」を17年8月より取扱開始しました。 17年9月末現在の実行額は6件12百万円です。</li> <li>・ 顧客への説明態勢を徹底するなどの目的で「営業店融資事務指導要領」を制定し、営業店を指導しています。また、営業店の事務管理者を対象に研修等を実施しています。</li> <li>・ 融資人材育成のため、職員に対し外部講師を招いての研修や土曜講座を実施しました。また、外部研修にも積極的に職員を派遣しています。 期間中研修は下記のとおりです。 融資人材養成講座4回、融資推進研修4回、中小</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 創業・新事業資金は期間中9件136百万円実行することができましたが、引続き情報収集や職員の能力向上を図り、取扱い増加に努めます。</li> <li>・ 今年度、取引先企業に対する支援活動は、対象先を21社に絞り込みました。17年8月に「実態把握・分析」及び「方針・シナリオ」を策定した段階であり、今後本格的に活動致します。</li> <li>・ 「だいしんおまとめローン」は17年8月から開始したこともあり、実績はまだ僅かです。今後取扱増加に努力します。また、担保・保証に過度に依存しない商品の企画を検討します。</li> <li>・ 今後とも、説明態勢を徹底するため、臨店指導や研修を実施します。</li> <li>・ 融資人材の育成は当金庫の大きな課題です。17年下半年も計画どおり実施し、人材育成に努めます。</li> </ul>

大項目	進捗状況及び進捗状況に対する分析・評価	今後の課題
<p>経営力の強化</p>	<p>企業経営改善支援実務研修1回、土曜講座（目利きに関する講座）2回、計11回実施しました。また、外部研修への派遣は4回実施しました。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 当金庫の信用格付システムは、信金中金のシステムを導入する予定です。17年度上半期はシステムについての勉強を集中的に実施しました。17年度下半期より具体的に取組みます。</li> <li>・ 当金庫は、不祥事故等が発生しないよう定期的にコンプライアンス教育や個人面談を実施しています。また、監査部による不祥事故防止のための臨時監査を実施しています。苦情等については、営業店から定期的に報告させ、関係各部やコンプライアンス委員会で協議し、営業店を指導しています。</li> <li>・ 個人情報関連規定の適切性や実効性、取組み状況等について、監査部が全店一斉検証を実施しました。そして、不備事項については、17年9月現在ほぼ改善されています。また、審査部も臨店時検証を行い指導しています。</li> <li>・ バーゼル（新しい自己資本比率規制）については、17年度下半期に関係各部で勉強会や対応策を協議します。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 当金庫は、信用格付制度の導入が遅れていますので早急に稼働できるよう対応します。</li> <li>・ 営業店で実施しているコンプライアンス教育は不十分な点があり今後とも指導します。また、不祥事故や苦情等が発生しないよう、臨時監査や個人面談等を行い検証や指導を徹底します。</li> <li>・ 今後とも、個人情報の漏洩が発生しないよう臨店指導や検証等を徹底します。</li> </ul>
<p>地域の利用者の利便性向上</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 当金庫の経営内容等の半期開示や地域貢献に関する情報開示は、定期的に実施しています。</li> <li>・ 17年12月に信用金庫の特性を踏まえた「利用者満足度調査」を実施します。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 半期開示や地域貢献に関する情報開示内容については、これからも内容の充実等に努めていきます。</li> <li>・ 「利用者満足度調査」結果については、内容を分析し経営に反映させます。</li> </ul>
<p>進捗状況の公表</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 17年8月に「地域密着型金融推進計画」をホームページに公表しました。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 今後、進捗状況について総合的な評価を行い公表します。</li> </ul>